

巻 頭 言

これからの技術開発 —部品事業の ものづくりにおいて—

部品事業部長 田中幸彦



21世紀に入りIT（情報通信技術）やインターネットなどが脚光を浴びていますが、製造業が国の存立と発展に重要な役割を担っていることはいままでのことではありません。その製造業が社会に貢献するものづくりのため、当社は「ものづくりの世界の発展に貢献し、企業の成長をはかる」という経営ビジョンのもと、1928年創業以来、研究開発・技術開発・商品開発を行い、常に新しい技術・商品を生み出してまいりました。その中で部品事業部門は大別してベアリング、油圧機器を生産しており、ベアリングは1939年ラジアル玉軸受、そして油圧は1953年ブローチ盤用油圧ポンプを造ったのが始まりで今日に至っております。ベアリングは世界のマーケットにおいて自動車、鉄道車両、工作機械、電機など幅広い分野に長寿命で高速・高精度・コンパクトな商品を提供し、また、油圧機器は重要な精密要素部品として建設機械、自動車、工作機械などに高機能で信頼性の高い商品として組み込まれています。いずれも当社の主力事業として量の拡大から質の充実への転換を進め、「ナチ・ビジネスの展開」の考えに立ってお客様直結型の事業活動を展開しています。「ナチ・ビジネス」とは顧客のものづくりのプロセスにおいて、市場と技術面のシナジーを発揮し優位性をもつナチ・ブランドを提供することであり、当部門の課題としては事業のシナジーが発揮できる新商品開発および優位商品・基盤商品のさらなる商品力向上が挙げられます。

新商品開発では今、世界レベルで論議されている地球環境問題への対応があります。地球温暖化、資源枯渇などの問題に対して省エネのための高効率化・低トルク化への限らない挑戦、3R（リユース、リデュース、リサイクル）のため的高機能化、軽量・コンパクト化への追究を目標として取り組んでいきます。当社は本年5月、ISO14001の認証を取得いたしました。その活動のひとつに「環境に配慮した商品づくり」があります。環境保全に向けての新商品開発や工程改善を行い、循環型社会の構築に貢献していきたいと考えております。

商品力向上については当社の特長である材料から製品までの一貫生産の中で、基礎となる材料研究と熱処理技術研究、さらに疲労寿命向上に効果的な鍛造技術研究を併せて、新鋼種、新構造、モジュール・ユニット化などの開発を進め、これまで以上に高品質で低コストな商品を投入していく所存であります。

これからますます技術が進歩し、要求される商品やサービスが高度化していくものと思われます。それに沿えるようお客様のニーズを先取りし、信頼性が高くお客様に満足していただける商品づくりに邁進し社会に貢献していく所存でありますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。